

プロジェクト名	インド / 日本品質自動変速機の海外生産実証事業		
企業名	株式会社アイシン / AHL(AISIN AUTOMOTIVE HARYANA PRIVATE LIMITED)	企業規模	中小企業 中小企業以外
事業類型	① 我が国のイノベーション創出につながる共創型 / ② 日本の高度技術海外展開型 / ③ サプライチェーン強靱化型		
事業分野	① GX分野 / ② DX分野 / ③経済安保分野		
事業規模	事業費総額：13,106百万円 / 補助対象経費総額：8,000百万円 / 補助金申請額：4,000百万円		

事業概要

【商業化時のビジネスモデル】

【概要】

- インドにおいて初となる無段自動変速機(CVT)を日本と同じ品質でかつコスト競争力ある生産ができるかの実証を目標とする

【主な技術及び実証性】

- インドにおいて工場を建設、豊富で安価な労働力活用の為マニュアル化した組立て設備を設置し、日本で開発済みの無段自動変速機を日本と同じ品質で量産できるかを実証
- インドにおいて、現地仕入先を育成・活用し、日本と同じ品質を維持しつつどこまでの部品が現地調達可能かを検証

【スケジュール】

- 交付決定日～3年間を想定

設備

コア技術設備は日本で手配し品質確保
汎用設備は現地で手配し低コスト実現

部品

コア技術部品は日本から供給
現地調達部品も活用し低コスト実現

組立て

現地子会社(AHL)に設備を設置、
部品集約し組立て、実証事業実施

【概要】

- インドにおいて初となる無段自動変速機(CVT)を日本と同じ品質でかつコスト競争力ある生産ができるかの実証を目標とする

【主な技術及び実証性】

- インドにおいて工場を建設、豊富で安価な労働力活用の為マニュアル化した組立て設備を設置し、日本で開発済みの無段自動変速機を日本と同じ品質で量産できるかを実証
- インドにおいて、現地仕入先を育成・活用し、日本と同じ品質を維持しつつどこまでの部品が現地調達可能かを検証

【スケジュール】

- 交付決定日～3年間を想定

日本で守るべき技術

コア技術

日本裨益

- 【雇用増加】
 - 日本の高品質でかつコスト競争力ある無段変速機をインドで生産・普及させ需要拡大を図り、それに伴う日本から供給する金属ベルト等コア技術部品の日本での雇用増加を見込む ※CVTコア技術部品日本付加価値分売り上げプラス5%(日本支給部品生産数+37%@'35年)
- 【日本のものづくり価値】
 - コスト競争力確保のため現地インド部品仕入先を育成・活用しサプライチェーンを強化することで日本のものづくりの価値が世界に認められる
- 【モビリティ社会CN化への布石】
 - 実施国でのCO2削減に貢献し、グローバルでのモビリティ社会CN化へ向けた確実な布石とする
※本事業により実施国において累積約3,770万トンのCO2排出削減を見込む（弊社算出値）